

部落解放研究第43回全国集会 開催要綱

【集会テーマ】 差別・貧困・格差を打ち破る「平和・人権・福祉」の研究・実践を進めよう！

【主催】 部落解放研究第43回全国集会中央実行委員会

〈構成団体〉 一般社団法人全国人権教育研究協議会（旧 全同教）

部落解放中央共闘会議 全国大学同和教育研究協議会

社団法人部落解放・人権研究所

『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議

同和問題に取り組む全国企業連絡会

部落解放同盟中央本部 地元（広島県）実行委員会 （順不同）

【日時】 2009年10月24日（土）～26日（月）

【場所】 広島県福山市 緑町公園屋内競技場「ローズアリーナ」 他

【規模】 6,600人

【日程】

期日	時刻	9:00	9:30	12:00	13:00	16:00
10/24				受付	全体集会	
10/25	受付	分科会	昼食	分科会		
10/26	受付	全体集会				

【参加対象】

- ①部落解放運動・研究にかかわる研究者・労働者・市民・宗教者・企業関係者・学生など
- ②部落解放をめざす行政・教育関係者および各級議員
- ③部落解放同盟の活動家をはじめとする部落大衆

【集会内容と会場】

10/24(土)		全 体 集 会 (第 1 日 目)
12:00	受 付	ローズアリーナ 住所 〒720-0804 広島県福山市緑町 2 - 2 TEL 084-927-9910
13:00	開 会	
13:05	主催者代表挨拶	
13:15	現地実行委員長挨拶	
13:20	来賓挨拶・紹介	
13:35	特別アピール『核廃絶をめざして—被爆者の訴え』	坪井 直 (広島県原爆被害者団体協議会理事長)
13:50	記念講演『学力格差の社会背景とその検証 —学力保障に資する調査と施策を求めて』	志水 宏吉 (大阪大学大学院人間科学研究科教授)
15:20	地元報告『県連再建40年を迎えた広島の解放運動の現在 (いま)』	川崎 卓志 (部落解放同盟広島県連合会委員長)
16:00	事務連絡／閉 会	

10/25(日)		分 科 会 (第 2 日 目)
9:00	受 付	各分科会場
9:30	開 会	
12:00	昼 食	
13:00	分科会再会	
16:00	分科会閉会	

10/26(月)		全 体 集 会 (第 3 日 目)
9:00	受 付	ローズアリーナ 住所 〒720-0804 広島県福山市緑町 2 - 2 TEL 084-927-9910
9:30	開 会	
9:35	特別報告①『日本弁護士連合会の国内人権機関・制度要綱とその意義』	藤原 精吾 (日本弁護士連合会・国内人権機関実現委員会委員長)
10:35	特別報告②『格差社会日本の労働——貧困と働きすぎを超えて』	熊沢 誠 (甲南大学名誉教授、研究会「職場の人権」代表)
11:35	特別報告③『国際人権諸条約と部落問題』	友永 健三 (部落解放・人権研究所理事)
12:00	閉 会	

【参加割当】

都府県	参加割当	都府県	参加割当	都府県	参加割当	都府県	参加割当
東 京	200	静 岡	10	和歌山	250	高 知	150
埼 玉	120	愛 知	100	大 阪	450	愛 媛	50
群 馬	100	岐 阜	60	兵 庫	400	福 岡	450
栃 木	70	三 重	100	岡 山	300	大 分	100
千 葉	30	富 山	10	広 島	1500	長 崎	30
神奈川	50	石 川	10	山 口	100	佐 賀	50
山 梨	5	福 井	10	鳥 取	350	熊 本	100
長 野	100	滋 賀	250	島 根	100	宮 崎	30
新 潟	10	京 都	300	徳 島	150	鹿児島	50
福 島	5	奈 良	300	香 川	150	合 計	6,600

【参加申し込みについて】

- ①参加・資料費は4,000円です。部落解放同盟の各都府県連で一括集約をお願いいたします。
- ②一般参加の方も、それぞれの部落解放同盟各都府県連にお申し込み下さい。
- ③参加・資料費の振り込み先は、部落解放同盟各都府県連から一括で下記の口座へ、お振り込みをお願いいたします。

※なお、広島県の方は地元実行委員会の案内に従って申し込みをお願いします。

《振り込み先》

銀行名：りそな銀行 桜川支店

普通預金 口座番号 4 2 6 3 0 4

名義人：部落解放同盟中央本部（全研）組坂繁之

※会場周辺は駐車場が少ないため、参加にあたっては公共交通機関をご利用ください。

【宿泊・弁当、フィールドワークの申し込みについて】

- ①宿泊費については、ホテルが多岐にわたるため一律の料金が設定できませんので、ランク別の料金設定になります。申し込み順に受け付けます。(お部屋数に限りがあり、ご希望に添えない場合がありますが、あらかじめご了承ください。)宿泊ホテル・料金などについては、近畿日本ツーリスト（Knt!福山支店）の「宿泊&弁当、フィールドワークのご案内」をご参照ください。なお、福山市内は宿泊施設が非常に少なく、周辺都市のホテルをご案内することもありますのでご了承ください。
- ②お弁当（お茶付）800円（税込み）
- ③申し込みの取り消しについては、取り消し料金を申し受けます。詳細は別冊の案内を参照下さい。
- ④申し込み締め切り日 **2009年9月30日(水)** 【期日厳守をお願いします。】
- ⑤予約の確認証・請求書は10月9日(金)頃の発送となります。すべての旅行代金は10月20日(火)までに近畿日本ツーリスト(株)銀行口座までお振込ください。なお、振込手数料は各自ご負担いただきますようお願いいたします。
- ⑥フィールドワークの申し込みは、下記までお願いします。

【宿泊・弁当、フィールドワーク申し込み先】

近畿日本ツーリスト株式会社(Knt!)福山支店 「部落解放研究第43回全国集会」係
(担当：今田・矢部・槇田)
〒720-0066 福山市三之丸町 6 - 5 TEL 084-928-8810 / FAX 084-928-8801

分科会テーマ	討 議 の 柱 内 容 ・ 進 行
1 入門・時事	①部落差別・部落問題の実態が見えにくくなっていると言われているが、そこには少数派・社会的弱者であることによって見えにくくさせられている、あるいは見ようとしなければ見えない構造的な背景がある。近年行われている部落問題の実態を把握するため各種の調査から、今日の部落差別の実態に迫る。 ②今年誕生したオバマ政権は、核拡散防止のみならず核軍縮・核廃絶に向けた動きを見せている。今日的な世界情勢と平和と人権の課題について、核兵器の廃絶を訴え続けてきたヒロシマの視点から考える。 ③パソコンが普及し、インターネットが日常的に多くの人に活用されるようになってい。他方で、差別や差別扇動を目的とするウェブサイトや掲示板・ブログなどで、差別的な書き込みが日常的に行われるなど、負の影響も否めない。近年注目されているインターネット上の差別とどう向きあうかを考える。 『国勢調査を活用した同和地区実態調査から—和歌山県人権課題現況調査』 原田 武男（和歌山県） 『部落解放同盟大阪府連合会女性部調査から』 塩谷 幸子（部落解放同盟） 『連合による採用選考に関する実態把握から』 磯部 行雄（日本労働組合総連合会） 『被爆地広島から考える日本の進路』 田城 明（中国新聞社特別編集委員） 『インターネット上の差別を考える』 中原 美香（インターネット上の差別に反対する国際ネットワーク（INDI）） 〈司 会〉西島 藤彦（部落解放同盟）
会 場	ローズアリーナ （福山市緑町公園屋内競技場） 〒720-0804 広島県福山市緑町2-2 ☎084-927-9910
2 入門講座 被差別部落 （被差別民衆） の歴史	①被差別民（衆）が日本の歴史・文化の面で果たしてきた歴史的役割を学び、歴史認識を高める。とりわけ、草戸千軒町遺跡（福山市）等から発掘された動物の骨から動物と関わった人々を解明する。 ②全国各地で行われている部落史編纂（研究）事業の取り組みを紹介し、同事業の重要性を共有すると共に全国各地で同様の取り組みを広める。 ③瀬戸内の部落史研究（前近代）の成果を学び、被差別部落の歴史を解明する。 一午前の部— 〈講 演〉『動物と関わった人々』 松井 章（奈良文化財研究所埋蔵文化財センター環境考古学研究室） 一午後の部— 〈報 告〉『部落史編纂事業の意義—大阪の部落史編纂事業の取り組みから』 寺木 伸明（桃山学院大学） 〈講 演〉『瀬戸内の被差別部落—歴史・文化・民俗』 沖浦 和光（桃山学院大学名誉教授） 〈司 会 者〉中尾 健次（大阪教育大学）
会 場	リーデンローズ 大ホール （ふくやま芸術文化ホール） 〒720-0802 広島県福山市松浜町2-1-10 ☎084-928-1802

分科会テーマ	討 議 の 柱 内 容 ・ 進 行
3 財政難・経済危機下で人権・同和行政をどう進めるか	①今日の自治体における財政難の中で、人権・同和行政を推進していくための条件やアイデアを練る。その際に、全庁的に人権尊重の取り組みを進めている大分県の取り組みに学ぶ。 ②未曾有の経済危機の中で、部落出身者をはじめとする就職困難者を職業につなげていくための方策として、地方自治体の就労支援の取り組みを検討する。その出発点として、今日の部落出身者の就労実態を把握し、課題解決につなげていくための取り組みに学ぶ。 一午前の部：自治体行政の現状と人権・同和行政の課題ー 〈報 告〉『自治体財政問題と人権・同和行政』 澤井 勝(奈良女子大学名誉教授) 『大分県人権尊重社会づくり推進条例制定の取り組み』 大分県 一午後の部：就職困難者の就労事態把握と就労支援の取り組みー 〈報 告〉『今日の経済危機と地域雇用政策の課題』 田端博邦(元東京大学教授) 『三原市協の就学・就労実態調査の取り組み』 部落解放同盟 〈司 会 者〉赤井 隆史(部落解放同盟) 〈助 言 者〉澤井 勝(奈良女子大学) 松岡 徹(部落解放同盟)
会 場	福山市勤労青少年ホーム 720-0802 広島県福山市草戸町5-12-3 体育室 ☎084-953-2006
4 日本の社会保障と福祉のあり方	①人権のまちづくりの実践報告から、社会的連帯を育む仕組みや仕組みづくりを考える。 ②貧困をなくすための社会的セーフティネット構築についてさまざまな視点から考える。 一午前の部ー 〈司 会〉大北 規句雄(部落解放同盟) 〈報 告〉『新たな隣保館運営の試みと人権のまちづくり』 社会福祉法人みらい 〈報 告〉『部落解放運動と自治会活動と人権のまちづくり』 摺木 利幸(部落解放同盟) 一午後の部：パネル討論ー「社会的連帯を育む仕組みと貧困をなくすための社会的セーフティネット構築」ー 〈パネラー〉中尾 由喜雄(全国隣保館連絡協議会) 東野 正尚(社会福祉法人大阪府総合福祉協会) 福原 宏幸(大阪市立大学) 和田 献一(部落解放同盟) 〈コーディネーター〉大北 規句雄(部落解放同盟)
会 場	福山市人権交流センター 720-0853 広島県福山市佐波町262-3 ホール ☎084-951-5700

分科会テーマ	討 議 の 柱 内 容 ・ 進 行
5 子どもの貧困と学力問題、人権教育を考える	①全国学力テスト、さらにはOECD（経済開発協力機構）によるPISA調査（3年間隔）の表面的な結果のみが注目を集める一方で、就学援助率が10年で2倍の約13%という子どもの貧困が進行している。人権・同和教育の視点から改めて低学力問題や学力観を捉え返し、学力・進路保障の推進を考えていく。 ②「人権教育の指導方法等の在り方・第3次とりまとめ」（2008年3月）等を受けて「文科省・人権教育取組状況調査」（2008年12月）が実施された。これらをふまえて、人権・同和教育の全国的取組みを推進していく上での課題を検討していく。 一午前の部— 〈問題提起〉『部落の子どもの学力実態、学力調査、人権・同和教育、学校と地域を考える』 岡田 健悟（部落解放同盟） 〈講演〉『子どもの貧困と学力問題—人権教育としての同和教育の視座から』 桂 正孝（宝塚造形芸術大学） 〈司会〉吉岡 正博（部落解放同盟） 一午前の部：パネル討論— 『文科省・人権教育第3次とりまとめ後の成果と課題—教育委員会／学校／文科省／運動の課題』 〈パネル討論〉平沢 安政（大阪大学） 栞原 成壽（全国人権教育研究協議会(旧 全同教)） 松島 裕子（日本教職員組合） 岡田 健悟（部落解放同盟） 〈司会〉中村 清二（部落解放・人権研究所）
会 場	リーデンローズ（ふくやま芸術文化ホール） 〒720-0802 広島県福山市松浜町2-1-10 小ホール ☎084-928-1802
6 啓発活動～これからの学びの理論と方法を考える	①地域や職域でエンパワメントの視点に立つ人権研修をどう組み立てるのか、とりわけダイバーシティ（多様性）に注目して学ぶ。 ②地域や職域で実践してきた部落問題学習を通していま求められている学びのスタイルや切り口について交流し、話し合う。 ③それらを通して今後求められる啓発活動のあり方について話し合う。 一午前の部— 基調講演『エンパワメントの視点に立つダイバーシティ研修の理論と方法』 森田ゆり（エンパワメント・センター） 一午後の部：実践報告とパネル討論— 「“おとなの学び”を考える～部落問題学習を通して～」 〈司会〉竹内 良（東京人権啓発企業連絡会） 〈報告〉『対話でつくる学びの場～愛知講座の実践から』 山崎 鈴子（愛知部落解放・人権研究所） 『写真展「対岸の肖像～BURAKUとのかけ橋～」を通して見えてきたこと』 中尾 繁雄（新大阪人権協会） 『部落解放理論講座の実践から～地域啓発の原点を考える』 岡井 寿美代（部落解放同盟） 『企業の取り組みから“私”を見つめる』 大西 英雄（大阪同和・人権問題企業連絡会） 〈助言〉森田 ゆり（エンパワメント・センター） 上杉 孝實（畿央大学） 吉田 勝夫（部落解放同盟）
会 場	福山市西部市民センター 〒729-0104 広島県福山市松永町3-1-29 大ホール ☎084-934-5443

	分科会テーマ	討 議 の 柱 内 容 ・ 進 行
7	狭山再審闘争と司法民主化の課題	①狭山事件の第3次再審請求で弁護団が訴えている内容を学習しながら、狭山事件の再審をひらくための取り組みを考える。 ②えん罪・狭山事件の真相、石川一雄さんの無実を原点にかえて考える。 ③狭山事件や他の冤罪事件の実態を通して、冤罪・誤判を生み出す社会、刑事司法、メディア等の問題点を明らかにし、冤罪・誤判をなくすための課題を考える。 ④スタートした裁判員制度のもとで、誤判・えん罪を防止するために、今後どのような改革が必要かを考える。 ⑤裁判員制度を市民はどのように考え、のぞむべきかを考える。 ⑥代用監獄や人質司法などの問題点を考え、取調べの可視化、証拠開示の公正なルールの確立など、誤判・冤罪をなくすための司法制度改革のありかた、今後の課題について考える。 ⑦国際人権自由権規約など国際人権法や人権基準、各国の司法制度に学び、日本における司法改革の課題を考える。 〈司 会〉小野寺 一規（部落解放同盟） 〈助 言〉片岡 明幸（部落解放同盟） 〈報告とパネル討論〉 柳原 浩（富山冤罪事件国賠原告） 志布志えん罪国賠原告・支援者 庭山 英雄（弁護士） 中山 武敏（狭山事件再審弁護団） 石川 一雄（狭山事件再審請求人）
	会 場	まなびの館ローズコム 大会議室 〒820-0812 広島県福山市霞町1-10-1 ☎084-932-7265
8	部落差別の実態と糾弾闘争の課題	①差別事件の取り組みを通して、部落差別の実態と差別事件の今日の特徴を明らかにする。 ②ネット上の差別事件の実態と今後の対応について考える。 ③差別意識のあり方や捉え方についての論議を通して、今後の差別糾弾闘争の実践的課題を明らかにする。 ④「人権侵害救済法」制定の取り組みと合わせて、差別糾弾闘争のあり方と人権政策確立にむけた法制度・施策を検討する。 〈司 会〉植村 あけみ（部落解放同盟） 〈助 言〉北口 末広（部落解放同盟） 〈報 告〉『差別落書き事件と清掃職場における差別撤廃の取り組み』 押田 五郎（東京清掃労組 東京清掃・人権交流会） 『大阪・土地差別調査の取り組み』 谷川 雅彦（部落解放同盟） 『インターネットと人権』 松村 元樹（反差別・人権研究所みえ） 『結婚相談所での戸籍謄本などの提出書類の実態報告』 川口 泰司（部落解放同盟） 『滋賀・土地問い合わせ差別事件の取り組み』 丸本 千悟（部落解放同盟） 『広島における差別事件の取り組み』 大宮 庄三（部落解放同盟）
	会 場	県民文化センターふくやま 大ホール 〒720-0065 広島県福山市東桜町1-21 ☎084-921-9200

	分科会テーマ	討 議 の 柱 内 容 ・ 進 行
9	どのような人権救済法をつくるのか？ 一人権侵害救済の法制度早期確立へー	①救済されるべき人権侵害の規定と、救済の方法はどうあるべきか。 ②国内人権機関の政府からの独立は、どのように実現されるべきか。 ③マスメディアは規制されるべきか。 ④上記の論点についての議論を深め、人権侵害救済に関する法制度の早期確立へむけた課題を協議する。 ー午前の部：講演ー 『日弁連「国内人権機関・制度要綱」がめざす人権救済のあり方』（仮） 藤原 精吾（日本弁護士連合会・国内人権機関実現委員会委員長） ー午後の部：パネル討論ー 『人権侵害救済に関する法制度の確立へ』 〈司 会〉谷元 昭信（部落解放同盟） 〈パネラー〉藤原 精吾（弁護士） 山崎 公士（神奈川大学） 組坂 繁之（部落解放同盟） 松本 龍（部落解放同盟）
	会 場	まなびの館ローズコム 中会議室 〒720-0812 広島県福山市霞町1-10-1 ☎084-932-7265

フィールドワーク コース案内

10月25日（日）

○福山コース

【定 員】120人 【参加費】5,000円（資料代・入館料・昼食代・交通費）

【集 合】9時25分 【出 発】9時30分

1 号 車	2 号 車	3 号 車
9：30 JR福山駅北口発	9：30 JR福山駅北口発	9：30 JR福山駅北口発
9：35 福山市人権平和資料館	9：35 ホロコースト記念館	9：35 対潮楼
11：50 軀の浦（昼食）	11：50 城址公園（昼食）	11：40 軀の浦（昼食）
12：40 対潮楼	12：40 福山市人権平和資料館	13：10 ホロコースト記念館
15：00 ホロコースト記念館	14：50 対潮楼	15：10 福山市人権平和資料館
17：00 JR福山駅北口着	17：00 JR福山駅北口着	17：00 JR福山駅北口着

《福山市人権平和資料館》

1994年に開館した福山市立の資料館で、1階に福山空襲など戦争の悲惨さを伝える平和部門、2階に部落の歴史と解放への歩みをテーマにした人権部門の常設展示があり、年数回の企画展もおこなわれている。

《ホロコースト記念館》

ナチスによる大虐殺の真相を伝える日本で唯一の資料館で、1995年に開館した。アンネ・フランクが隠れていた部屋を再現した模型をはじめ、強制収容所で虐殺された人々の遺品や写真などを展示している。

《対潮楼一福禅寺》

福禅寺は真言宗の寺院であり、江戸時代に客殿が朝鮮通信使のための迎賓館として使用された。客殿からの眺望は「日東第一形勝」と賞賛され、1748年に通信使正史の洪啓禧によって対潮楼と名づけられた。

○広島コース

【定 員】 80人 【参加費】 6,000円（資料代・入館料・昼食代・交通費）

【集 合】 8時55分 【出 発】 9時00分

9：00	JR福山駅北口発
10：30	平和記念資料館（館内見学）
12：00	昼食
13：00	国際会議場（被爆体験を聞く会）
14：30	原爆ドームと慰霊碑・被爆アオギリの見学
17：00	JR福山駅北口着

《広島市平和記念資料館》

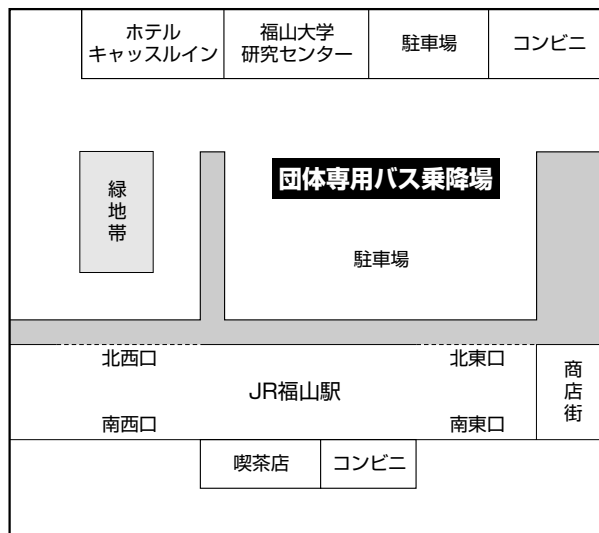
世界で最初に核兵器の被害を受けた広島市が恒久平和の願いを込めて建設した資料館。被爆直後の市内のジオラマ（縮尺模型）をはじめ、様々な被爆資料を展示しており、国内外から多くの人が見学に訪れている。

《被爆体験を聞く会》 於：国際会議場

被爆教職員協議会会長（元部落解放同盟広島県連副委員長）の下原隆資さんと在日朝鮮人被爆者協議会会長の李実根さんから、被爆の実相、被爆下の街でも厳然と存在した差別の実態について話していただく。

○集合及び解散場所について

福山コース・広島コースともJR福山駅北口の団体専用バス乗り場（右図）です。



【会場案内図】

ローズアリーナ

全体集会

第1分科会 入門・時事



〈交通機関〉

- ・ JR「福山」駅から中心部循環路線まわローズ赤ルート「福山駅前」(駅南口)より「ばら公園前」バス停(所要時間5分)下車約700m。JR「福山」駅南口から約2.4km

(住 所) 広島県福山市緑町2-2

(T E L) 084-927-9910

リーデンローズ（ふくやま芸術文化ホール）

大ホール **第2分科会** 入門講座 被差別部落(被差別民衆)の歴史

小ホール **第5分科会** 子どもの貧困と学力問題、人権教育を考える



〈交通機関〉

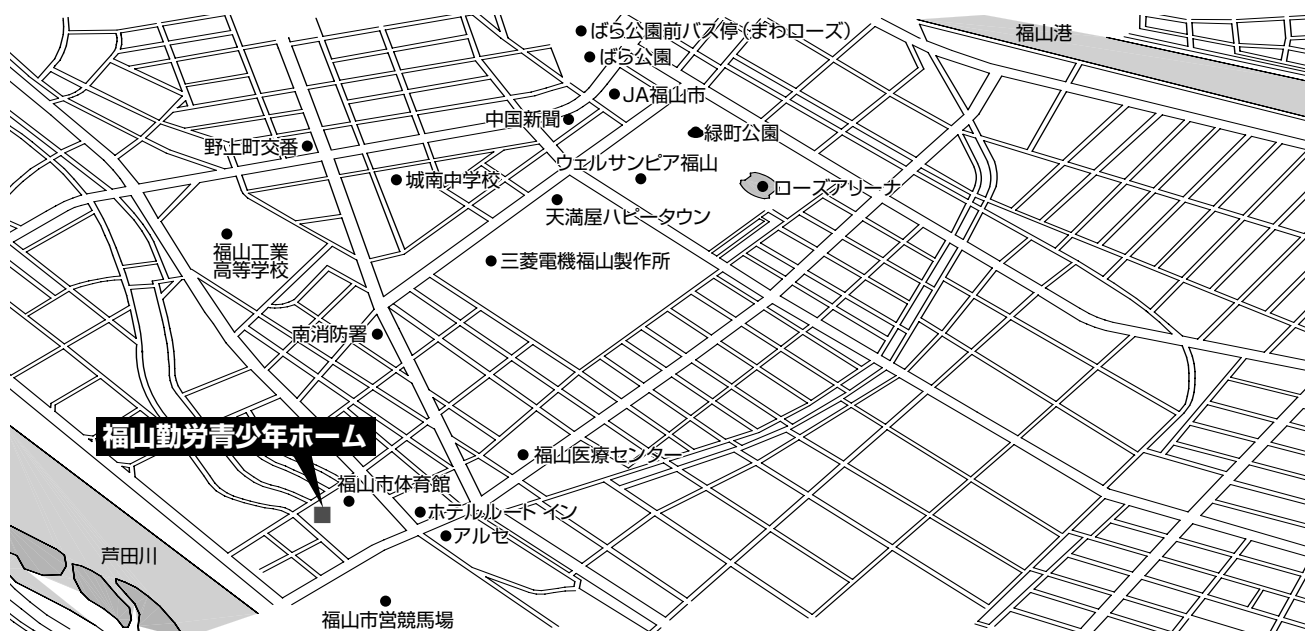
・JR「福山」駅から中心部循環路線まわローズ赤ルート「福山駅前」(駅南口)より「リーデンローズ入口」バス停(所要時間7分)下車。JR「福山」駅南口より約2km。

(住 所) 福山市松浜町2-1-10

(TEL) 084-928-1802

福山市勤労青少年ホーム 体育室

第3分科会 財政難・経済危機下で人権・同和行政をどう進めるか



〈交通機関〉

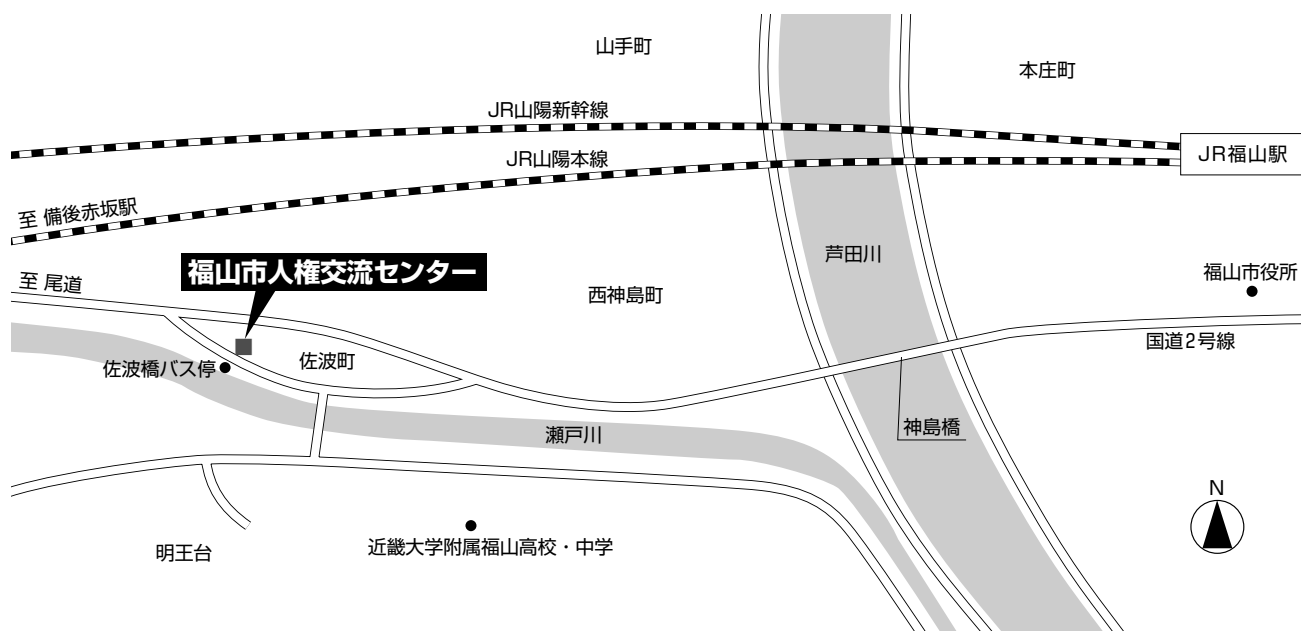
・JR「福山」駅から中国バス①番のりば古地経由車庫行き「体育館前」バス停(所要時間10分)下車、約250m。

(住 所) 福山市草戸町5-12-3

(TEL) 084-953-2006

福山市人権交流センター ホール

第4分科会 日本の社会保障と福祉のあり方



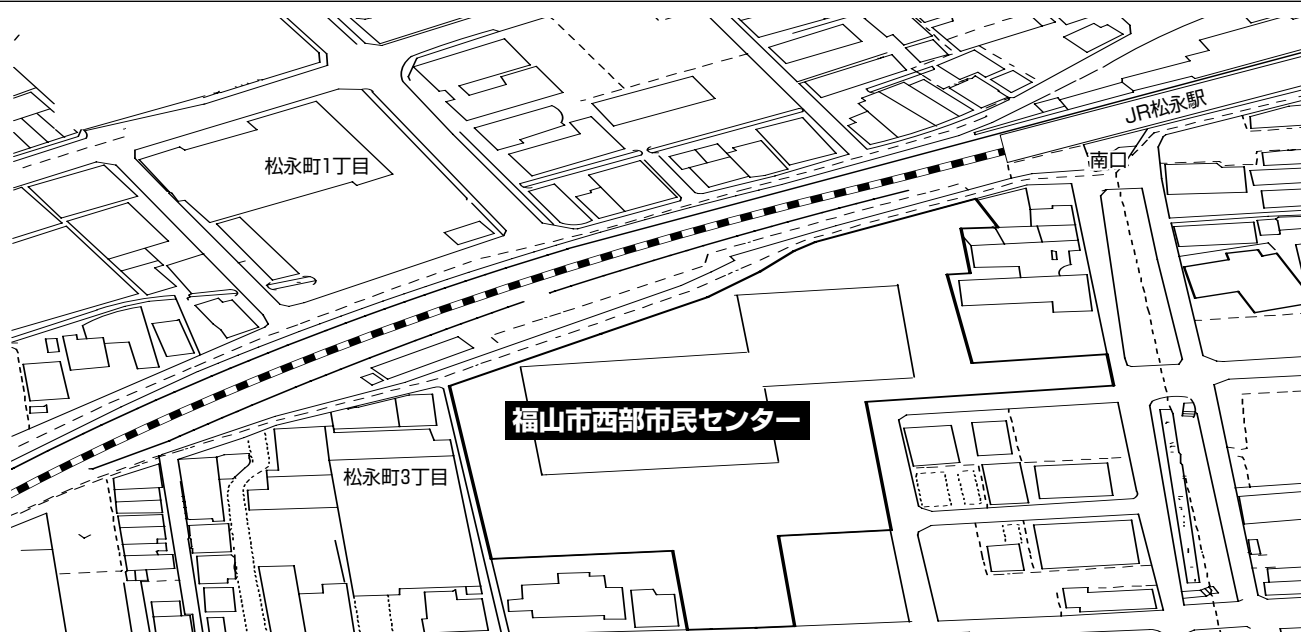
〈交通機関〉

- ・ JR「福山」駅から路線バス⑮番のりば尾道線(松永・尾道方面行き)、または早戸線(満越・浦崎方面行き)「福山駅前」(駅南口)より「佐波橋」バス停下車スグ。
- ・ JR「福山」駅から車で2号線尾道方面へ約3km、所要時間10分

(住 所) 福山市佐波町262-3
(TEL) 084-951-5700

福山市西部市民センター 大ホール

第6分科会 啓発活動～これからの学びの理論と方法を考える



〈交通機関〉

- ・ JR「松永」駅(「福山」駅から山陽本線下り2駅目)下車、駅南口から約250m。

(住 所) 福山市松永町3-1-29
(TEL) 084-934-5443

まなびの館ローズコム

大会議室 **第7分科会** 狭山再審闘争と司法民主化の課題

中会議室 **第9分科会** どのような人権救済法をつくるのか？

－人権侵害救済の法制度早期確立へ－



〈交通機関〉

- ・ JR「福山」駅から中心部循環路線まわローズ赤ルート「福山駅前」(駅南口)より「中央図書館ローズコム」バス停(所要時間2分)下車スグ。
- ・ JR「福山」駅から約1km。

(住 所) 福山市霞町1-10-1

(TEL) 084-932-7265

県民文化センターふくやま

第8分科会 部落差別の実態と糾弾闘争の課題



〈交通機関〉

- ・ JR「福山」駅から約400m。

(住 所) 福山市東桜町1-21

(TEL) 084-921-9200